ふりがな：

開始事件 事件番号　令和　　年（家）第　　　　　　　号　　本人の氏名：

**後見等事務報告書（２回目）**

**【総合支援型】**

（報告対象期間：令和　　　　年　　　　月　　　　日～令和　　　　年　　　　月　　　　日）

令　和　　　　　　年　　　　月　　　　日

住　所

成年後見人等　　　　　　　　　　　　　　　印

電話番号

（日中に連絡がとれる電話番号を書いてください。）

　後見事務の振り返り・今後の希望について

１　監督人による支援の下，到達点を意識して実際に行った具体的な後見事務の内容を記載してください（振り返り）。

(1)　意思決定支援

(2)　財産管理事務　※支援商品利用のための支援については対象外。

(3)　身上保護事務

(4)　報告事務

(5)　地域における相談窓口理解

２　今後の後見事務について不安に感じていることがあれば，記載してください。

３　今後の後見事務をどのように進めるつもりですか。

※前記１の内容にかかわらず，必ず選択してください。

□　引き続き，単独で後見人を続けたい。

□　引き続き，監督人の支援等を受けながら，後見人を続けたい。

□　辞任して，専門職の後見人に交代したい。

□　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

　本人の生活状況について

１　本人の住所について

(1)　前回報告以降，本人の住所に変化はありましたか。

□　変わらない。 □　以下のとおり変わった。［　　　年　　　月から］

【住民票上の住所】

【実際に住んでいる場所】（ ※ 入院先，入所施設などを含む。）

※　変わったことが確認できる資料（住民票，入院や施設入所に関する資料など）を本報告書とともに提出してください。

(2)　近い将来，本人の住所を変更する予定はありますか。

□　ない □　ある→【変更先：　　　　 　　　　　　・未定】【時期：　　　頃・未定】

２　前回報告以降，福祉に関する認定の有無等について変化はありましたか。

□　変わらない。 □　以下のとおり変わった。

□　介護認定（認定日：　　　年　　　月）

□　要支援（１・２） □　要介護（１・２・３・４・５） □　非該当

□　障害支援区分認定（認定日：　　　年　　　月）（区分１・２・３・４・５・６）

□　療育手帳　　（判定　Ａ・Ｂ１・Ｂ２）

□　精神障害者保健福祉手帳　　（１・２・３　級）

□　身体障害者手帳　　（１・２・３・４・５・６・７　級）

※　変わった場合は，これらの認定が確認できる資料を本報告書とともに提出してください。

３　本人の日常生活・社会生活の状況について

(1)　認知機能について変化はありましたか。

□　変わらない。　　□　以下のとおり変わった。

日によって変動することがありますか：□　あり　　□　なし

（※　ありの場合は，良い状態を念頭に以下のアからエまでチェックしてください。）

ア　日常的な行為に関する意思の伝達について

□　意思を他者に伝達できる。 □　ときどき伝達できる。

□　ほとんど伝達できない。 □　できない。

（具体的な意思の伝達方法は次のとおり）

□　言語 □　筆談 □　手話 □　身振り・手振り

□　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

イ　日常的な行為に関する理解について

□　理解できる。 □　理解できない場合がある。

□　ほとんど理解できない。 □　理解できない。

ウ　日常的な行為に関する短期的な記憶について

□　記憶できる。 □　記憶していない場合がある。

□　ほとんど記憶できない。 □　記憶できない。

エ　本人が家族（親，配偶者，子供，兄弟・姉妹）を認識できているかについて

□　正しく認識している。 □　認識できていないところがある。

□　ほとんど認識できていない。 □　認識できていない。

(2)　身体機能・生活機能について変化はありましたか。

□　変わらない。 □　以下のとおり変わった。

□　全面的に介助が必要

□　一部（排せつ，入浴，食事，外出，日常の買い物等）について介助が必要

□　介助の必要はない。

変わった内容や，今後，介助等に関する体制の変更や追加的対応が必要な場合は，その内容をお書きください。

|  |
| --- |
|  |

４　本人の暮らしについて

(1)　本人の生活状況

ア　本人の日頃の生活状況について変化はありましたか。

□　変わらない。

□　以下のとおり変わった。（健康状態，日常の過ごし方，福祉サービスの利用，作業・仕事等）

|  |
| --- |
|  |

イ　日常の意思決定について

□　変わらない。 □　以下のとおり変わった。

□　できる。 □　特別な場合を除いてできる。 □　日常的に困難 □できない。

（「変わった」と答えた場合）変わった内容（どのような事柄や場面であれば意思決定ができるか，どのような支援があれば意思決定ができるか等）について具体的にお書きください。

|  |
| --- |
|  |

ウ　金銭の管理について

□　変わらない。 □　以下のとおり変わった。

□　本人が管理している。 □　後見人等の支援を受けて本人が管理している。

□　後見人等が管理している。

（「変わった」と答えた場合）変わった内容（支援を受けている場合には，誰がどのような支援を行っているか等）について具体的にお書きください。

|  |
| --- |
|  |

(2)　本人の介護や生活にかかわっている親族や，相談している支援者・機関の有無について

□　変わらない。 □以下のとおり変わった。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 支援者名・機関の名称 | 連絡先 | 担当者等 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

(3)　介護・福祉サービスの利用状況について

□　変わらない。 □　以下のとおり変わった。

□　利用なし（□　必要なし　　□　利用を検討中　　□　本人が拒否）

□　利用あり

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| サービスの種類 | 利用頻度 | サービス提供機関 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

５　本人の目指す暮らしと課題

(1)　前回報告以降，どこで，どのような生活を送るか（本人の目指す暮らし）について，本人の希望に変化はありますか。

□　変わらない。 □　以下のとおり変わった。

（「変わった」と答えた場合）どのような変化があったか，具体的にお書きください。

|  |
| --- |
|  |

(2)　(1)で記載した「本人の目指す暮らし」を実現するために課題となることや，なぜそれが課題なのかを具体的にお書きください。また，前回報告時の課題が引き続きある場合は，その現状をお書きください。

|  |
| --- |
|  |

６　後見人等と本人との交流の状況等について

(1)　交流の頻度 □　年 □　月 □　週　　　　　　　　回程度

(2)　交流の方法 □　面会 □　電話 □　メール □　その他（　　　　　　）

(3)　本人は，面会のときどのように過ごしているか，具体的にお書きください。

|  |
| --- |
|  |

　本人の財産状況について

１　前回報告以降，月々の定期収入と定期支出に変化はありましたか。

□　特に変わらない。

□　どちらかが変わった。もしくは両方とも変わった。

（「変わった」と答えた場合）変わった時期，費目，理由及び変更前と変更後の月額を以下にお書きください。また，これらが確認できる資料を本報告書とともに提出してください。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 変わった時期 | 費目 | 理由 | 変更前の月額（円） | 変更後の月額（円） | 資料番号 |
| ．　． |  |  |  |  |  |
| ．　． |  |  |  |  |  |
| ．　． |  |  |  |  |  |
| ．　． |  |  |  |  |  |

２　前回報告以降，１回につき１０万円以上の臨時収入がありましたか。

□　ない。 □　ある。

（「ある」と答えた場合）以下にその内容をお書きください。また，これらが確認できる資料を本報告書とともに提出してください。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年月日 | 費目 | 理由 | 金額(円) | 入金口座 | 資料番号 |
| ．　． |  |  |  |  |  |
| ．　． |  |  |  |  |  |
| ．　． |  |  |  |  |  |
| ．　． |  |  |  |  |  |

３　前回報告以降，１回につき１０万円以上の臨時支出がありましたか。

□　ない。 □　ある。

（「ある」と答えた場合）以下にその内容をお書きください。また，これらが確認できる資料を本報告書とともに提出してください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 年月日 | 費目 | 理由 | 金額(円) | 資料番号 |
| ．　． |  |  |  |  |
| ．　． |  |  |  |  |
| ．　． |  |  |  |  |
| ．　． |  |  |  |  |

４　前回報告以降，本人が得た金銭（定期収入，臨時収入の全てを含む。）は，全額，今回コピーを提出した通帳に入金されていますか。

□　はい。 □　いいえ。

（「いいえ」と答えた場合）入金されていないお金はいくらで，現在どのように管理していますか。また，入金されていないのはなぜですか。以下にお書きください。

５　前回報告以降，本人の財産から，本人以外の人（本人の配偶者，親族，後見人自身を含みます。）の利益となるような支出をしたことがありますか。

□　ない。 □　ある。

（「ある」と答えた場合）誰のために，いくらを，どのような目的で支出しましたか。以下にお書きください。また，これらが確認できる資料を本報告書とともに提出してください。

６　前回報告時にあった「財産面における課題」の処理状況及び今後の見通しをお書きください。また，新たな「財産面における課題」が発生した場合は，その内容及び処理方針について具体的にお書きください。

７　その他，裁判所に報告しておきたいことがあればお書きください。

**※　完成したら，家庭裁判所や後見等監督人に提出する前にコピーを取って，大切に保管してください。**

**※　記載された内容につき，追加の資料を求めたり，お問い合わせをする場合がありますので，ご協力ください。**